

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



新毎日新聞

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.554・3月5日号

毎週木曜発行

4面にプレゼント情報!

●Oh!Me 編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数:100,000部
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

布を使って本物そっくりの花を表現するアート「布花」。彦根市の布花作家・武野美和子さんは「自然に逆らうのはルール違反」を信条に、派手さを求めず徹底して自然の花を表現し、多くの人を魅了している。

ドイツ流との出会い

武野さんが布花を始めたのは37年前。ママ友らと始めた習いごとで、教えてもらった通りに作るだけで満足していた。当時は大きく派手なアレンジが主流だったが、作った花が家中に溜まっていくと家の中が落ち着かなくなってきた。「小さなスペースでも飾れる、心の落ち着く布花はないのか」。そんな思いが強くなり、花

のアレンジについて勉強しようと彦根市のフラワーデザイナー・河合透さんに師事した。

1998年、ドイツへの研修に参加したときのこと。ドイツでは植物本来の姿と性質を理解したうえでデザインすることを大切にしている「自然に逆らうのはルール違反」と教えられた。

「研修は3000坪の敷地から好きな花を摘むところから始まります。むやみに花を切らず、自然のままの姿を生かすドイツ流のアレンジが自分の求めているものだと感じました」

心和むアレンジ求め

ドイツから帰ると、少し乾いた哀愁漂う花の色を好んで使うようになった。本物の

花を分解して3〜4日置くと乾燥して落ち着いた色になる。この色が心を落ち着かせることに気が付いた。さらに、花だけを強調するのではなく周囲に草や小さな花を使い、粘土人形の妖精を添えたりして人の心を和ませるアレンジも心掛けるようになった。

花を飾る器も思い通りのものが欲しくなり、陶芸教室に通って自分で作ったこともある。自然のままの姿を生かすために、本物の花を分解して花びら、がく、葉の型紙を取る。花が手に入らなかったときは、園芸店で球根を買い、花を育てて型紙を取ることもある。

使う布地は30種類以上。素材の風合いで花の表情が変わるので、同じシルクでもオーガンジー、サテン、羽二重など、風合いや薄さが異なる生地を組み合わせることで本物の質感に近づけていく。花びらの丸みや反りはコテを使って表現。花びらの数は多いものと50〜100枚にもなる。12種類の染料を調合して色を作り出すが、複雑な色の混じり加減を表現するのが難しい。納得いく色が出せるようになるまで20年近くかかったという。

素敵な素敵な人



自然のままを表現 癒しの布花

布花作家 武野美和子さん (彦根市在住・68歳)



「布花は自分の一部」

90年から2年に1度、作品展を開いている。いつのころからか作品は「癒しの布花」と呼ばれるようになった。2001年に発生したアメリカ同時多発テロに衝撃を受け、アメリカで作品展を開きたいと思った。「癒しの布花」で少しでも現地の人を勇気づけたいと思ったからだ。3年後にペンシルベニア州で開いた作品展では、世界貿易センタービルを模したランプの周囲に布花と天使を飾った作品を展示。売り上げは全額現地のがん

の協会に寄付した。創作の傍ら、布花教室も20年以上続けている。作った後のことも考え、ブーケばかりでなく、リースやタペストリー、ボードなど小さなスペースや壁に飾れるものが多い。

「布花は自分の一部。37年間休んだことがありません。人に喜んでもらえることが活力源です。ちゃんとした技術がないと満足させられませんので、今でも日々勉強ですね」(取材・福本)

癒しの布花展

■場所:長浜市立湖北文化ホール (長浜市湖北町速水2745)
■時間:8:30〜18:00
■料金:入場無料 ■休館日:水曜日、祝日

武野美和子 ●0749-24-0790
武野さんの作品をプレゼント! 詳細は4面

3/31 まで

滋賀生活情報紙【Oh!Me】はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読お申し込みはフリーダイヤル **0120-468-012**

・菓子バイキング・

叶匠寿庵の銘菓・生菓子をはじめ、このバイキングでしか味わえないお菓子も取り揃えてお待ちしております。

・お楽しみ屋台・

梅まつり限定「梅パウンドケーキ」

匠寿庵銘菓に加え、梅まつり限定菓子もご用意。ここでしか味わえない限定菓子をお土産にぜひどうぞ。

・梅まつり限定菓子・

味あつ 梅まつり

花の宴

一目千本 近江彩る梅の郷

期間 平成27年 3月7日(土)〜22日(日)

時間 10時〜17時

・和菓子づくり教室・

通常の和菓子づくり教室に加え、「男性限定の「男の菓子教室」を初開催!

梅林

千本の城州白梅は最大の見どころです。日本古来から愛でられている「梅見」を存分に。

体験する 観賞する

※3月上旬頃から咲き始めますが、天候の都合により梅の開花が前後する場合がございます。
期間中、自家用車でお越しのお客様は駐車料金1台につき1000円頂戴いたします。
●駐車場ご利用のお客様には苑内で当日ご利用いただけるお楽しみ券(1000円分)をお渡します。●寿長生機石・美山つつら弁当・和菓子作り教室をご予約のお客様は駐車料金不要です。●ペットを連れてのご入場はご遠慮ください。●飲食物の持ち込みはご遠慮ください。●通常、水曜日は定休日とさせていただきます。

3月は休まず営業いたします。

イベントスケジュール

7日(土)	菓子バイキング・音楽コンサート<口笛>・ミツバ子とばし和菓子づくり教室・紙すき体験・春の自然観察会・梅玉づくり体験
8日(日)	菓子バイキング・音楽コンサート<うた>・子供菓子教室・紙すき体験・手ひねり陶芸体験・こども餅つき・梅玉づくり体験
9日(月)	花に遊〜遊
10日(火)	和菓子づくり教室・楽しい農体験・ローズウィンドウ
11日(水)	和菓子づくり教室
12日(木)	和菓子づくり教室・手ひねり陶芸体験
14日(土)	菓子バイキング・音楽コンサート<サクソ>・男の菓子教室・楽しい農体験・郷景色と似顔絵・郷の押し花・紙すき体験・手ひねり陶芸体験・梅玉づくり体験
15日(日)	菓子バイキング・音楽コンサート<二胡>・子供菓子教室・和菓子づくり教室・紙すき体験・郷景色と似顔絵・郷の押し花・手ひねり陶芸体験・こども餅つき・梅玉づくり体験
16日(月)	花に遊〜遊
17日(火)	和菓子づくり教室
19日(木)	和菓子づくり教室・手ひねり陶芸体験
20日(金)	ローズウィンドウ
21日(土)	菓子バイキング・かるたのいろは・紙すき体験・花に遊〜遊・手ひねり陶芸体験・梅玉づくり体験
22日(日)	菓子バイキング・音楽コンサート<口笛>・和菓子づくり教室・紙すき体験・梅玉づくり体験

●自社農園野菜、近江旬菜販売は毎土日開催
※イベントの日程・内容は天候等により変更させていただきます

お菓子工房「寿長生の郷」 叶匠寿庵

TEL.077-546-3131

〒520-2266 滋賀県大津市大石龍門4丁目2番1号
<http://www.sunainosato.com/>
●梅まつりの情報もホームページでご確認ください。